

私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

# 土浦平和の会

ニュースNO・128 2003年1月

発行 土浦平和の会  
事務局 土浦市神立町2664-2  
TEL 31-9122

## 3.15 日比谷・銀座

## 若者からの報告

その3



イラク戦争開始直前の3月15日に東京・日比谷で開催された「平和を願う日本の良心をいま世界に！イラク攻撃反対3.15大行動」には老若12名の方が参加し、その中の3人の若い方に感想を寄せていただきました。平和の会ニュースNo.127に2人の感想を掲載しましたが、引き続き武田さんの感想を掲載します。

### 3.15 NO WAR ON IRAQから平和を願って

若い人ということでこの報告を書くことになりました武田です。29歳で確かに若いですが、この辺で若いというのいまいかがなものかと思えます。<もっと>若い方の参加を希望します。というのも平和は年寄りのものではなく、次世代を担う若者のものだからです。その意味では現在の日本の陥っている状況は深刻で、本当は私たちの現実に極めて近い深刻な危機が、こうまでも茶化され、現実離れさせられ、他人ごとのようにされていることに、今多くの無関心を装う日本人がこれからいったいどうするつもりなのか、ここに今の日本の危機を感じずにいられません。本当はコロンブスの卵みたいなもので行動するかしないかの発想だけが重要なことに気づきましょう。

私は前回の2.14集会に引き続き今回も参加しました。だからどうだというわけではなく、実はただ暇なだけだったりします。今回も前回と同じくなだいなださんが中心となってこの集会が開かれていました。もちろん私はなだいなださんが誰なのかなんて知りません。調べると作家であり医者だということです。なんかえらそうですね。なだいなださんの主張は、現実をととても鋭く突き、そしてユーモアに溢れていて、何か人をひきつける得体の知れない魅力を感じさせる方です。なだいなださんも言っていました。前回の2.14集会は寒くて私などは流れる鼻水を必死ですすり上げ、デモ行進のときは体の底から震えていましたが、今回は少し天気は悪かったものの大変過ごしやすい気分で、よかったです。今回演壇に上がった方々は前回同様バラエティーに富んでいました。前回より市民活動団体が多かったです。このほうが現実的でよかったです。そして何より私が感じたことは、今このような活動に積極的に参加するのは男よりも女なのです。このような傾向は特に年齢が若くなるほど顕著であるような気がします。今や「俺について来い」という台詞は女のものとなりつつあります。主体性のかけらも無くなった男はただ女の意見を尊重し、それが優しさだと誤解し、女に騙され金を巻き上げられています。女性解放運動をする者には朗報です。